

# 平成28年度特別会計決算 **認定**

## 国民健康保険事業

区 分	28年度末	前年度比
南島原市総世帯数	18,982世帯	△21世帯
南島原市総人口	47,514人	△785人
国保世帯数	9,181世帯	△272世帯
加入世帯率	48.4%	△1.3%
退職者等加入者	352人	△225人
一般若人加入者	17,772人	△640人
国保人口合計	18,124人	△865人
国保加入率	38.1%	△1.2%

**歳入総額**  
104億2,392万9千円

**歳出総額**  
101億4,053万円

**実質収支額**  
2億8,339万9千円



### 〈概要〉

被保険者は減少しているものの、一人当たり医療費の増加により、前年度繰越金と法定外繰入金5億6千万円を加味したとしても、単年度収支は9年連続の赤字となった。

今後も高齢化が進むとともに医療の高度化などによる医療費の増高が予測され、財政的に厳しい状況が続くと思われるため、税の収納対策や医療費適正化対策、特定健診事業の充実強化を図り財政健全化に努める事が重要である。

## 簡易水道事業

**歳入総額**  
20億8,729万5千円

**歳出総額**  
20億5,572万7千円

**実質収支額**  
54万6千円

簡易水道統合整備事業は平成29年度が最終年度となるため、測量設計業務の委託を行うなど事業完了に向けて着手した。

給水件数は14,513件、給水人口は33,868人と、区域内人口の減少に伴い給水人口も年々減少しており、老朽化した施設の更新をはかり有収率の向上に努めることが必要である。

歳入から歳出を差し引いた形式収支額は3,156万8千円で、そのうち3,102万2千円を繰り越している。

## 下水道事業

**歳入総額**  
9億1,132万1千円

**歳出総額**  
8億9,361万1千円

**実質収支額**  
4万2千円

各地区の加入率は口之津処理区1,379戸60%、南有馬処理区376戸48%、西有家町慈恩寺・見岳処理区144戸56%で、口之津処理区が、前年度より僅かに減少したものの、他の2地区は増加している。

歳入から歳出を差し引いた形式収支額は1,771万円で、そのうち1,766万8千円を繰り越している。

## 後期高齢者医療事業

**歳入総額**  
6億2,649万6千円

**歳出総額**  
6億2,296万1千円

**実質収支額**  
353万5千円

被保険者は9,787人で、前年度より31人増加し、総人口の20.6%を占める。

保険料の収納率は99.5%、医療費は総額98億3,006万円で、一人当たり100万4,400円となり、前年度より1.5%減少しているが、制度維持のために今後も保健事業や広報活動事業を充実させ、医療費の適正化に取り組む必要がある。